

つなぐ

第12号

2019年2月1日発行
鳥取県 境港市議会



平成30年12月定例会	補正予算	_____	P 2
平成30年12月定例会	議決結果	_____	P 3
市民と議会の懇談会		_____	P 3
一般質問		_____	P 4
市内現地視察報告		_____	P17
常任委員会視察報告		_____	P18

競りの様子 — 鳥取県営境港水産物地方卸売市場 —



平成30年

12月定例会 補正予算

12月定例議会は、12月5日から21日までの17日間の会期で開かれ、平成30年度一般会計補正予算など予算関連6議案、手数料条例の一部を改正する条例など条例3議案、指定管理者の指定について1議案が上程されました。審議、採決の結果、議案はすべて原案のとおり可決されました。その他、陳情2件が提出され、審議の結果、1件は採択、1件は不採択となりました。また、陳情にもとづく委員会提出議案1件は原案通り可決、議員提出2議案のうち1件が原案通り可決されました。

(議決結果はP3に掲載しています。また市議会ホームページでもご覧になれます。)



ふるさと納税PR事業

ふるさと納税額の増加にともない
寄附者へのプレゼント費用などを増額

1,630万円

議会市民アンケート調査
実施事業

議会への関心度、議員の定数・報酬などに
関する市民アンケートを実施

43万円

地域包括支援センター
運営事業

増え続ける相談・ケアプラン作成に対応するため
介護支援専門員を1人増員

120万円

風しんワクチン
予防接種費補助金

風しんワクチンの接種件数増加と
対象者の範囲拡大にともない補助金を増額

26万円

平成30年12月定例会 議決結果

◆議案

案 件	議決結果
平成30年度境港市一般会計補正予算（第3号）	原案可決（全会一致）
平成30年度境港市下水道事業費特別会計補正予算（第2号）	原案可決（全会一致）
平成30年度境港市介護保険費特別会計補正予算（第2号）	原案可決（全会一致）
平成30年度境港市後期高齢者医療費特別会計補正予算（第1号）	原案可決（全会一致）
平成30年度境港市一般会計補正予算（第4号）	原案可決（賛成多数）
平成30年度境港市下水道事業費特別会計補正予算（第3号）	原案可決（全会一致）
境港市手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
境港市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（賛成多数）
境港市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決（賛成多数）
指定管理者の指定について〔境港市老人福祉センター〕	原案可決（全会一致）

◆陳情

案 件	議決結果
「安倍内閣の退陣を求める世界平和7人委員会のアピール」を支持する意見書提出に関する陳情	不採択（賛成多数）
待機児童解消、保育士等の処遇改善、保育の無償化のための必要な措置を求める意見書の提出を求める陳情	採択 意見書提出（全会一致）

◆委員会提出議案

案 件	議決結果
待機児童解消、保育士等の処遇改善、保育の無償化のための必要な措置を求める意見書の提出について	原案可決（全会一致）

◆議員提出議案

案 件	議決結果
全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の実現を求める意見書の提出について	原案可決（賛成多数）
消費税率10%への増税を中止するよう求める意見書の提出について	否 決（賛成少数）

このほか、報告案件が1件ありました。また、11月臨時議会において、平成29年度一般会計等の決算認定に関する議案9件が認定され、報告案件が1件ありました。

平成30年度『市民と議会の懇談会』のご報告

今年度は、8月23日開催予定の境・誠道会場が台風の影響のために延期になり、改めて11月29日の開催となりました。7会場すべての開催ができ、合計88人の市民の皆さんに参加をいただき、ありがとうございました。

各会場において、いただいたご意見やご提言は、今後の議会活動や市政運営の調査・研究に活かしてまいります。各会場でいただいたご意見の内、その場で回答できなかったものについては、回答をまとめ、市議会ホームページへ掲載するとともに、公民館などにおかせていただきます。

日程	会 場	参加者数（人）
8月21日（火）	渡 公 民 館	22
	余 子 公 民 館	13
8月22日（水）	外 江 公 民 館	12
	上 道 公 民 館	10
8月24日（金）	中 浜 公 民 館	11
11月29日（木）	境 公 民 館	11
	誠 道 公 民 館	9
合 計		88

市政を問う

13人が一般質問を行いました。

【一口メモ】

境港市議会では、議員個人の立場・観点で行う「各個質問」と、所属する会派を代表して行う「代表質問」（3人以上の会派のみ）があります。

議会だよりの質問ページは、質問を行った1議員については最大1ページとしていますが、上記の「各個質問」と「代表質問」では性質や質問時間が異なるため、「代表質問」を行う場合は会派内でページの配分をしています。

各議員は掲載した以外にも質問していますが、議会だよりの場合は、スペースの都合上、議員本人が質問と答弁を要約しています。

ページ	質問事項		質問議員
5・6	代表質問	①広域連携による一体的発展について ②「さかな」と「鬼太郎」を生かした経済振興について ③安心して住みよい生活基盤の充実について ④市民との連携による誠実な行政運営について	森岡 俊夫
7	関連質問	①安心して住みよい生活基盤の充実について	米村 一三
7	関連質問	①ふるさと納税について	平松 謙治
8	代表質問	①本市の道（ロード）の現状と展望について ②学校教育について ③社会教育について	築谷 敏雄
9	関連質問	①地域公共交通のあり方について ②買い物弱者支援策について	佐名木知信
10	関連質問	①サカイマリンマラソンコースについて ②空き家について	永井 章
11	関連質問	①弓ヶ浜サイクリングロードの延伸について ②境港市の農業振興について	荒井 秀行
12	各個質問	①都市水路の維持管理について ②障がい者の雇用について	景山 憲
13	各個質問	①LGBT等、性的マイノリティへの支援の施策について ②今後の公民館の位置づけと体制のあり方について	田口 俊介
14	各個質問	①福祉総合相談及び福祉・生活困難者の早期対応によるセーフティーネットの構築と地域共生社会の実現について ②認知症対策と健康づくり推進計画について	足田 法行
15	各個質問	①政府による「辺野古への新基地建設」と日米地位協定の改定について ②島根原発2・3号機の申請問題と安全協定の締結について ③大震災に備え、人的被害を出さず、被害を最小限に食い止めるための対策について	長尾 達也
16	各個質問	①大府市のウェルネスバレー構想について ②水木ロード、リニューアルオープン後の宿泊者対策等について	松本 照
17	各個質問	①同性パートナーシップ制度の導入など性的マイノリティ（少数者）の人が安心して暮らせる社会について	安田 共子

議事録は議会事務局やホームページで閲覧できます。

広域連携による 一体的発展に向けて

市長

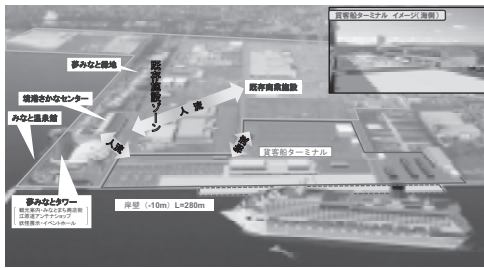
大山・中海圏域の ゲートウェイ機能を果たす



会派 きょうどう
森岡 俊夫 議員

【森岡】竹内南地区は、大山・中海圏域のゲートウェイとしての機能を果たさなければならぬと思うが、にぎわい創出の状況はどうか。

【市長】「境夢みなと



境夢みなとターミナル完成図（イメージ）

【市長】「次期港湾計画の構想について、境港管理組合を中心として、有識者を交

えて検討をはじめている。【森岡】ターミナル利用の中枢となるDBSクルーズ「イースタンドリーム」は、進水後25年以上経過しているが、その代替計画は。【市長】経営改善という観点から見た場合、輸送能力向上のため大型化をはかることも選択肢の1つと聞いている。DBSクルーズ社の判断を注視していく。

水産業振興のための 労働力確保を

市長

外国人労働者との 共生に向けた研究をしたい

【森岡】水産業の振興に欠かせない労働者確保の点で、国会を通過した入出国管理及び難民認定法の改正は、本市産業へ大きな影響があると思うが市長の所見をうかがう。

【市長】これまで

外国人技能実習生に

対する地域交流事業

などは、積極的に

行ってきた。今後は日本語教室開催の検討など外国人が暮らしやすい環境づくりを努めていきたい。【森岡】今後は国籍取得による永住者の移動も頻繁になる。外国人との共生についての取り組みが急務と思う。人口の30%を目標に外国人を受け入れることを想定した「出雲市外国人共生プラン」に

【市長】本市産業を支える上において、外国人労働者に負うところが今後さらに増大してくる。今すぐに出雲市のようなプランは想定していないが、出雲市の例を参考に外国人労働者との共生を視野にいれながら研究に取り組んでいきたい。



外国人技能実習生の日本語講習

原発対応と最終処分場建設計画は

市長

安全を第一義とした対応と早期に建設計画を

【森岡】島根原発の適合性基準申請内容の不備についていかがう。

【市長】中電に対し、

安全を第一義として、審査に真摯に対応し、審査状況などについて、わかりやすく丁寧な説明を責任を持って行うよう求めている。

【森岡】東海第2原発に隣接する那珂市海野市長が、完璧な避難計画は不可能であることから再稼働には反対の意思を示した。市民に実効性のある避難計画を示すことができるか。

【市長】毎年、住民参加型の避難訓練によって、実効性の向上をはかっている。



最終処分場の覆土

【森岡】数年後に使用できなくなる一般廃棄物最終処分場について次期計画を早期に策定すべきではないか。

【市長】鳥取県西部広域行政管理組合では、一般廃棄物の最終処分場と、既存の可燃ごみ・不燃ごみ処理施設の広域対応などについて、協議を行っている。

【森岡】適地、適正な建設費・利用料など市民に重い負担とならない次期建設計画に努められたい。

財政運営と公共事業の見通しは

市長

規律ある財政運営と雨水対策などに取り組む

【森岡】41億円の基金残高のうち35億円を土地開発公社に無利子貸し付けしているが、基金運用など将来的な財政運営について市民にわかりやすく説明すべきではないか。

【市長】将来の投資事業への活用を考えれば、最低限、公社貸付金を10億円以上

上回る程度の基金残高を目指さなければと考えている。今後とも規律ある財政運営に努めていく。

【森岡】公共事業の根幹であった下水道整備があと数年で終わる。市内建設・土木業者へ将来の公共工事の中長期的な計画を指し示す必要があるのではないかと。

【市長】下水道事業がほぼ終了した後

は、雨水対策に本格的に着手する。あわせて、道路の舗装や側溝の老朽化についても年次計画に取り組んでいく。

【森岡】総合評価方式による入札を試験的に行ったが、来年度以降の入札制度はどのようにされるのか。

【市長】総合評価方式を今後も継続したいと考えている。



本年度も進められる下水道工事

豪雪対策の昨年からの改善点は

市長 丁寧に行ける体制とし
除雪能力も拡充する

雪となつて路面の状態が悪かった。今年度は丁寧な除雪ができるよう委託業者や使用機材を増やし、交差点などの残雪除去にも努める。

【米村】今後の除雪機導入の予定は。

【市長】公民館に配備した機械の貸し出し需要などを見て検討する。配備されていない学校への導入は来年度に実施し、地域への貸し出しも検討する。

【米村】竹内町自治会でも除雪機導入について検討がされたようだが、経費が多額であり、オペレーター養成などの課題があるため踏み切れないとの悩みを聞いた。チャレンジする地域団体へ大幅な助成制度はできないものか。

【市長】自治会などへの支援として、コミュニティ助成事業の活用を奨励している。

【米村】昨年の大雪の経験を踏まえた雪害対策の改善点は。

【市長】昨年は降雪量が多く、低温が長く続いたことで、庄



会派 きょうどう 米村 一三 議員



除雪機を使つての雪かき

ふるさと納税の的確な活用を！

市長 寄附者の指定分野や
大型事業に対応したい



会派 きょうどう 平松 謙治 議員

【平松】本市では、ふるさと納税制度による寄附金を基金に全額積立し、翌年度以降の事業費として使っている。私なりに整理すればその年度の寄附金と寄附金

のPR経費の差が余力財源となり、次年度以降の新たな事業にあてられるべきと考えるが、この寄附と基金の運用・活用と基金の基本的な考え方は。

【市長】寄附者の指定された4分野の新規事業や単独事業に基金を取り崩し使用している。取り崩し残となる基金は、今後の大型事業などにも充当したい。

【平松】制度が始まつてからの全事業を見たが単年度の緊急的

な事業を除き、年により基金を利用したり、しなかつたり基金活用の考え方が定まっていなと思うが。

【総務部長】年度ごとに予算策定にあつたて一般財源や起債など他の財源とのバランスをはかりながら実施している。

【平松】今後、寄附額が増え余力財源が増えるよう、本市の素晴らしい産品を地元企業とともにPRし、境港のファンを増やしてもらいたい。

ふるさと納税額 魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金 (単位: 千円)

年度	件数	A 寄付額	B 寄附事業費	C=A-B 余力財源	基金取崩し事業費	基金残高
平成20年度	25	4,817	371	4,446	0	2,822
平成21年度	112	6,669	276	6,393	520	7,612
平成22年度	321	9,589	3,014	6,574	6,354	10,708
平成23年度	590	13,412	4,622	8,790	7,820	16,302
平成24年度	2,245	27,566	12,843	14,723	14,665	29,209
平成25年度	9,959	119,071	52,229	66,842	67,222	61,052
平成26年度	27,546	429,896	215,294	214,602	37,675	434,245
平成27年度	24,172	285,442	148,363	137,079	400,825	318,764
平成28年度	26,090	449,397	256,238	193,159	281,162	487,061
平成29年度	49,644	717,693	421,128	296,565	272,841	831,664
一平成29年度合計	2,024,421	1,115,362	296,518	1,218,274		
平成30年度(予定)	493,081	222,595	222,446	63,855		

ふるさと納税額と魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金の推移

本市の道（ロード）への思いは？



自民クラブ
築谷 敏雄 議員

市長

重要な社会基盤であり地域資源と考える



境港市全景

【築谷】本市のさまざまな道（ロード）についての思いや地方創生の考えは。

【市長】道路や航路は、地域の発展や経済社会活動を支え、市民の安心安全を確保するなど、多面的な機能を有するもので、重要な社会基盤であり、地域資源であると考える。

本市からつながらざるままな道を地域資源としてさらに磨きをかけ、広域での利活用に努め、本市の活力ある地方創生につなげていきたいと考える。

部活動指導員配置についてうかがう

教育長

来年度から各中学校に配置を考えている

【築谷】教職員の多忙解消のため、部活動指導員配置の考えは。

【教育長】中学校教職員の勤務時間外業務調査において、最も割合が多い業務が「部活動」であった。教育委員会では、教職員の負担軽減、業務改善の観点から「部活動指導員」の配置を来年度から考えており、各校の希望をもとに、来年度は各校1名、平成32年度は各校2名、平成33年度は各校3名の配置をめざす。

整備状況や運営会議の情報発信は？

教育長

ホームページやかわら版で情報発信したい



解体中の市民会館

【築谷】（仮称）境港市民交流センター整備の進捗状況や運営会議の経過報告など情報発信についてうかがう。

【教育長】今後も機会をとらえホームページや市報での広報はもとより、概要版を公民館などに配布し、広く市民に見てもらおうように考えている。工事の進捗状況や管理運営計画についても、ホームページの随時更新や市報での広報に努め、かわら版の発行などを検討し、情報発信をしていきたい。

はまるーぷバスの 利用促進の状況は

市長

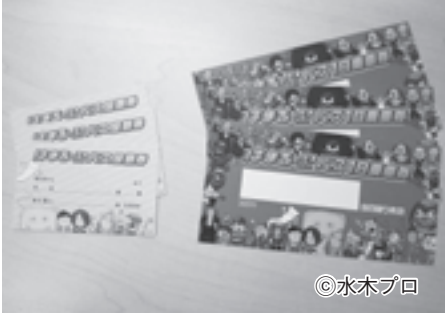
定期券・障がい者割引 一日乗車券を導入



自民クラブ 佐名木 知信 議員

【佐名木】運転免許証返納者や学生・職員のはまるーぷバスの利用促進への取り組みは。
【市長】定期券と障

がい者割引、一日乗車券を導入。当面は制度改正の周知をはかり実績を注視する。
【佐名木】共通パスポートやICカードなどを導入し、運賃支払キャッシュレス化を考えてはどうか。
【市長】中海・穴道湖・大山圏域市長会で、初期投資や費用対効果など導入に向けた調査を行うかどうか検討している。
【佐名木】利便性を高め利用促進をはか



©水木プロ

はまるーぷバスの定期券、
一日乗車券

ることは、高齢者・障がいのある方へ向けた福祉面や交通事故防止、外出することによる健康面への効果につながる。安定的な経営により、バス停へのベンチや屋根の設置などのハード面、増便や円滑な接続サービスなどのソフト面の充実がなされ、多様な市民のニーズに対応することができると。幅広く市民の声を集め実効性の高い公共交通政策へつなげられたい。

官民一体となった 買い物弱者支援策を

市長

高齢者のニーズを聞き 必要な支援を検討する

【佐名木】高齢者の買い物支援策の現状についてうかがう。
【市長】介護予防も兼ね、はまるーぷバスの運行経路の見直しや定期券の導入など、高齢者の方が外出・利用しやすい環境を整えた。また、外出が困難な方に対し、介護ヘルパーによる買物支援、民間事業者の配食サービ

スや商品の宅配サービスなどを紹介している。
【佐名木】将来予測される買い物弱者の把握状況を問う。
【市長】前回調査から3年が経過。高齢化率の変化、スーパーや個人商店の閉店、さまざまなサービスの展開など、買い物環境の変化も大きいことから、来年

度「買物環境に関するアンケート」を再度行う。
【佐名木】VR技術を活用した買い物弱者支援策についてうかがう。
【市長】民間企業の取り組みの広がりは良いことである。アンケート結果を踏まえ、必要な支援策を検討していきたい。



VR技術を活用した買い物弱者支援システムの
テスト風景

マラソンコース 路面改修の考えは？

市長

平成32年度から
4年程度で改修する予定



自民クラブ
永井 章 議員

【永井】サカイマリ
ンマラソンコースに
なっている市道高松
渡線は、埋設工事な
どにより路面の段差

【市長】舗装修繕工事は、工事費が多額となるため、国の交付金や起債事業を活用し、老朽化の度合いや交通量など、優先度が高い路線から年次的に実施している。この路線では、路面性状検査の結果、舗装のひびわれ箇所などが多かったことから、舗装改修路線として、約1億円の事業費を見込み、平成32年度から4年間

などが多くあるが改修の予定は。



サカイマリンマラソンコース
(市道高松渡線)

程度で改修する予定である。国の予算配分状況により、事業の進捗状況も変わるので財源確保をはかりながら、早期に事業着手できるように努めたい。

【永井】市道高松渡線には、このコースの最終中継地点があり、非常に重要な地点でもあるので、改修の優先順位もあると思うが、ぜひとも早期に事業着手をお願いしたい。

【永井】空き家を解体するための費用や、その後の固定資産税の増額が発生することから、解体工事をためらっている方がいると聞いているが、有効な方策を講じる考えはないのかうかがう。

【市長】特定空家に該当する建物を解体する費用については、平成29年度に

特定空家の 固定資産税について

市長

解体しなくても
税額を上げる措置がある



市内の特定空家

国の制度も活用して補助制度を見直し、居住用の建物の場合、補助率を50%から80%へ、補助上限額を60万円から120万円へと拡充したところである。土地の固定資産税については、住宅を解体し更地になると、住宅用地特例がはずれ、税額が上がる。

平成27年度から、危険な状態の建物を放置することを抑制するために、条例に基づき勧告が行われた特定空家に係る土地については、更地にした場合と同様に、住宅用地特例の対象から除外され、解体しなくても、税額を上げる措置が取られている。

サイクリングロード 延伸の手続きは

市長 地元関係者の合意形成が必要



自民クラブ 荒井 秀行 議員

【荒井】 境夢みなとターミナルが供用開始するための本市の準備状況について。

【市長】 二次交通の確保やクルーズ船のおもてなし、各種イベントの開催などについて、中海・宍道湖・大山圏域市長会などで検討。

【荒井】 ターミナルの周辺整備の中で、白砂青松の弓ヶ浜サイクリングロードは夢みなとタワーと皆生温泉をつなぐコースであり、現在整備中。一方、もう少し短時間での観光サイクリングを希望の方には、夢みなとタワーから緑地公園、



現在整備中の白砂青松の弓ヶ浜サイクリングロード

海岸を経由してJR境港駅までつながるコースが必要と思う。市長の見解は。【市長】 指摘のコースは、既存の道路を活用し周遊が可能、今のところ整備の必要性を感じない。【荒井】 サイクリングロードを設置するための手続きは。【市長】 地元関係者での合意形成をはかり、事務局の鳥取県に伝え、検討会で議論をしていく必要があると考える。

農業用倉庫の 新規就農者用への確保は

市長 倉庫の確保は考えていない

【荒井】 境港市の農業は、各種の就農支援制度を活用し、若手ネギ農家の育成など活発な動きも見受けられる。新規就農者が希望する農地面積に対しては、どのような対応をされているのか。【市長】 新規就農者には、就農前の研修

と並行して、農地への希望を聞き確保に努めている。【荒井】 公社や市が、仲介・紹介する農地はどのような状態で提供するのか。【市長】 新規就農者へ仲介する農地は、直ちに作付けが行える状態の農地の確保が必要。農業公社が中間保有する農地を



新規就農者用に確保される農地

貸し出す際には、ゴミの処分や整地を行ったうえで、貸し付けを行っている。【荒井】 新規就農者が当面の間、借りられる農業用倉庫を確保できないか。【市長】 農業用倉庫は農地の近接地にあることが望ましい。確保は考えていない。

下ノ川最下流部の適切な維持管理を

市長

計画的修繕が必要と認識している



無所属 景山 憲 議員

【景山】下ノ川は本市の比較的大きな川であり、都市下水路として役割も大きく適正に管理される必要がある。しかし近年、最下流部で劣化が進んでいる。今後、

改修が必要であり、年次の計画を策定し改修を進めるべきと考えるが見解を。また、境港管理組合の管理区間の床張りにも破損している箇所があり改修が必要である。本市と境港管理組合が連携し水路の適正維持に取り組むべき、見解は。

【市長】下ノ川は、一部壁面が倒壊するなど老朽化が進んでいる。計画的修繕が必要と認識している。倒壊している南側の箇所については、来年度以降修繕する考えである。修繕などの計画策定についても取り組んでいきたい。境港管理組合の管理区間については、管理組合から「改めて調査を行い、対応を検討する。」との回答であり、この水路の適正管理をお願いし、市としても水路機能維持に努める。



市内の都市水路の一部

障がい者雇用への安定した取り組みを

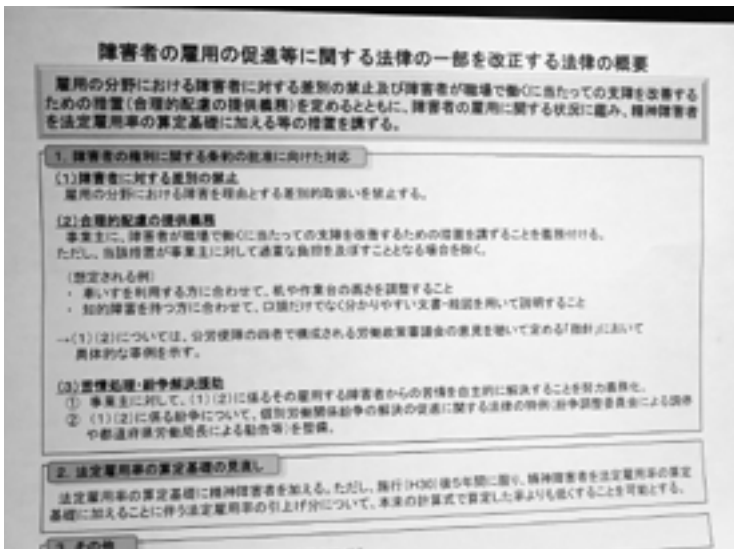
市長

障がい者雇用率達成は自治体の責務である

【景山】障がい者の自立推進に向けて、雇用拡大が進んでいるところであるが、中央省庁の雇用増しが公表され問題となっている。本市では、これまで法定雇用率に沿って取り組んできたものと理解している。今年4月から、知的障がいの方、身体障がいの方に加え精神障がいの方の雇用も義務化さ

れた。今後の本市の障がい者雇用にあたっての方針、見解をうかがう。

【市長】本市の障がい者雇用率は、本年6月1日現在で2・74%であり、地方自治体の法定雇用率2・5%を上回っている。法改正により本年4月から精神障がい者が雇用率の算定基礎に加えられること、今年度から新たに精神障がいの方1名を採用した。障がい者雇用率を達成、維持することは自治体の責務であり、業務内容、職場環境に配慮しながら雇用を努める。



障がい者雇用の改正概要について（厚生労働省資料より）

共生社会のモデルのまちづくりを！

市長 人権や多様性が尊重される社会づくりが重要



公明党 田口 俊介 議員

【田口】市民や児童生徒に向けてのLGBT理解への取り組みや、当事者への支援や配慮の具体的な

施策は。

【市長】市民を対象に境港ふれあい・ほっとアカデミーを平成31年1月に開催する。

【教育長】職員の研修はもとより、校内に啓発ポスターを掲示するなど児童生徒が日常的に意識できる環境も必要と考える。

【田口】市職員の中にも当事者が存在する可能性もあるが、就業規則や互助会制度の見直しなど、職場環境改善の取り組み

みは。

【総務部長】今後検討する方向でないといけないと思う。

【田口】本市でのLGBT支援宣言や同性パートナーシップ制度の導入は。

【市長】先進地の事例なども参考に考えていきたい。

【田口】市営住宅入居条件の同性パートナーの扱いについて要件緩和は可能か。

【建設部長】現状では認められないので検討してみたい。



「LGBT」について、理解の輪を広げましょう！

公民館の位置づけの再考を

教育長

先進地の事例などを参考に研究したい

【田口】これからの公民館の果たすべき役割を考えたとき、社会教育法の公民館を廃止し、市長部局所管のコミュニティセンターとして、生

涯学習と地域振興を行う施設として設置する自治体も多い。本市でも、公民館の位置づけを再考しては。

【教育長】自治連合会からも「市長部局所管のコミュニティセンターを視察した。積極的にまちづくりを展開しており、本市でも検討してはどうか」とのご意見を聞いている。これまで公民館が果たしてきた役割を評

価・検証した上で先進地の事例などを参考に研究したい。

【田口】各公民館に市職員を配置し、多様化する地域課題の確な把握、迅速な対応と解決をはかるため、地域担当職員制度を取り入れては。

【市長】地域活動への参加などを通じ、市民の目線に立ち、柔軟な発想で積極的に行動できる職員の育成に努めたい。



地域づくりの拠点、公民館

本市の地域共生社会について問う

市長

共生社会の取り組みを
いっそう深めたい



〔足田〕(仮称)市民交流センターに福祉の総合相談窓口を設置してはどうか。

【市長】設置が計画されている社会福祉協議会と、それに関係する各機関の連携強化によって市民ニーズに対応したい。

【足田】社会福祉法に、自治体は地域住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みるための支援体制づくりをするとある。住民による地域福祉は、地域の社会・経済の活力の基盤となり、必ず地域の安心・安定となる。このような我が



我が事・丸ごとの共生社会の実現

【市長】「設置が計画されている社会福祉協議会と、それに関係する各機関の連携強化によって市民ニーズに対応したい。」

【福祉保健部長】元気高齢者が、高齢者の方を支える環境を作っていききたい。

【市長】福祉の相談体制については、さまざまな立場の人に助力をいただいで、充実したものにしたと思う。外国の方も含めて、みなが助けあい、支えあうまちづくりが必要で、共生社会の取り組みをいっそう深めていきたい。

病気予防に健康教育が有効では

福祉保健
部長

健康教育を大切に
健康づくりを推進する

【足田】地域での健康づくり全般を担当、健康づくり推進員の育成と地域活動の支援体制づくりを健康づくり推進計画の中に位置づけてはどうか。

【市長】健康づくり全般を担う推進員の育成は、考えていないが、市民のつながりを大切に、健康

づくり地区推進員や食生活改善推進員などによる健康づくり活動の推進、充実をはかっていく。

【足田】健康寿命が長い山梨県、愛知県、静岡県は、ともに健康意識が高く高齢者の就業率も高い。健診(検診)の受診率も高く、規則正しい食生活の割合が高いとのデータから認知

症、ガン、生活習慣病などの予防に健康教育がたいへん効果があると思うが。

【福祉保健部長】予防に関して、健康教育は有効である。策定中の健康づくり推進計画では、「知ろう」「つながろう」を大切にライフステージに応じた健康づくりを推進していくこととしている。



フレイル・認知症予防に効果のある
市民の森でのグラウンドゴルフ

日米地位協定改定の 早期実現を

市長

全国市長会でも
地位協定見直しを要望した



日本共産党境港市議団
長尾 達也 議員

【長尾】全国知事会
は7月「米軍基地負
担に関する提言」を
全会一致で採択し、
日米地位協定の改定

全国知事会による 日本・ドイツ・イタリアの地位協定比較

国	①国内法の適用	②基地の管理権	③犯罪・災害への対応	④警察権
日本	原則不適用(一帯協定法上、海軍基地は特殊な地位が認められ、軍人等の国内法適用除外が認められる)	米軍に併存の管理権が認められ、日本側による基地への立入り権は明記されていない	警察権は米軍にあり、警察官も派遣される。政府としても求めることもしないという認識	基地内での全ての犯罪は、米軍に併存の管理権が認められ、日本側による警察権は認められない
ドイツ	米軍基地内の犯罪は米軍法に適用される。ドイツ国内法の適用を明記	米軍、米空軍基地の立入り権が明記され、警察官が基地内への立入り権を有する	米軍の警察、消防は、ドイツ側の許可、承認、同意が必要	ドイツ警察による基地内での犯罪の捜査権を明記
イタリア	米軍と米空軍基地内ではイタリア法適用の遵守義務を明記	米軍基地もイタリア共和国の下に置かれ、イタリア共和国による米軍基地の管理への立入り権を明記	米軍の警察、消防、イタリア軍司令官への事前通知、同意、承認が必要	イタリア警察による基地内の犯罪の捜査への立入り権を明記

「全国知事会米軍基地負担に関する研究会」について から

を政府に要請、米軍の国内法を無視した低空飛行訓練は鳥取県でも行われ県民の生活を脅かしている。全国知事会とともに地位協定の一日も早い改定実現に尽力を。

【市長】全国知事会
は7月27日「提言」
を決議し、関係機関
に要請した。全国市
長会も平成16年に地
位協定の見直しを要
望しているところであ
る。

立地自治体と同等の 安全協定改定について

市長

改定なしでは最終意見を
回答するのは難しい

【市長】中電には遺憾の意を表明し、改めて安全を第一義とした真摯な対応を強く求めた。立地自治体と文言上も同様の安全協定への改定を重ねて強く申し入れた。納得いく回答がなければ、最終意見を申し述べることは難しいと考える。

【長尾】島根原発2・3号機申請書類不備問題など議会・市民に説明がない。中電の姿勢をどう思うか。知事は「2・3号機の可否判断が求められる際、協定改定を避けて通れない」と述べている、市長も同じ思いか。

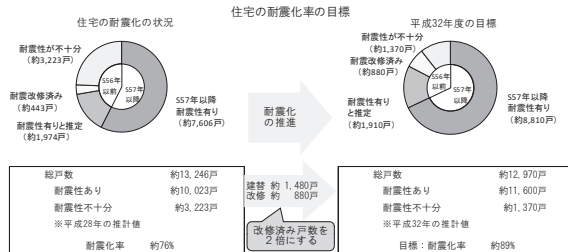
大震災に備えた 今後の取り組みは

市長

耐震診断の周知
防災訓練、啓発に努める

【市長】ここ2年間で耐震診断が96件と大幅に増加した。制度の周知とともに、防災訓練や研修、啓発に努める。講演会・学習会の開催を検討していきたい。

住宅の耐震化率の目標： 現況耐震化率 76% ⇒ 平成32年度末 89%



境港市耐震改修促進計画

【長尾】住宅の耐震化、危険ブロック塀の点検・撤去、自主防災組織づくりなど大きく遅れている。震度6強の大震災に備え、人的被害を出さない、最小限にとどめる対策を。自助・共助・公助がしっかり役割を果たすこと、講演会・学習会を繰り返し行うことが重要ではないか。

運動の習慣化で健康寿命を延ばそう

市長

健康が長寿を全うする一番のおおもと

を考えると、運動習慣を身につける姿を見た。本市にも既存施設の整備で導入できると感じた。先進地に学び、早くから運動を習慣化するウエルネスランド構想（心身に良好な状態を維持する考え方）を提案します。

【市長】運動の習慣化は、健康づくりの推進に重要と認識している。提案の構想について取り組むことまでは考えていな

【松本】「健康づくり都市」を掲げる愛知県大府市へ視察に出掛けた。市民が積極的に心身の健康維持



無所属 松本 熙 議員



既存の施設を有効的に利用して運動を習慣化しよう！

い。

【松本】18歳以上の4人に1人が運動不足と見られる世界保健機構の研究結果もある。長時間労働や自動車依存の生活行動のかたよりなど、運動の機会を奪っているとの指摘もある。

【市長】若いときから運動に親しみ継続することを市民に啓発して、健康づくりの取り組みを深めたいと思う。

滞在時間の延長を宿泊と経済効果に

市長

宿泊を伴う誘客に繋がるように取り組んでいる

【松本】水木ロードリニューアル後の入り込み客は確実に増加。夜のイルミネーション効果も好評。今後はより一層の集客力で宿泊客を増やし、市内の雇用につなげる必要がある。

【市長】観光協会や水木しげる記念館が

【松本】にぎわいのロードを訪れた観光客を対象にアンケート調査して、市内の宿泊者は14%となる結果が出た。夜間演出照明や、12月から開始したクリスマス・イルミネーションなどで夜のにぎわいを創出して宿泊につなげるよう取り組んでいる。

継続と夜間の滞在時間の延長を、どのように経済効果に結びつけるかが重要だ。滞在時間の延長には宿泊が一番効果的だと考える。

【市長】今、ホテル事業者が市内進出に向け、用地を検討中で、ぜひ市内に立地してほしいと思っている。



©水木プロ

観光客でにぎわう水木しげるロード

同性パートナーシップ制度導入を

市長

十分に調査研究し
慎重に検討していきたい



日本共産党境港市議員
安田 共子 議員

【安田】性的マイノリティについての理解が進んでいるとは言いがたい。今夏問題になった、衆議院議員による「LGB

Tへの支援は必要ない」旨の発言についてどう考えるか。
【市長】共助共生社会を構築するうえで、相容れず、問題への理解不足と当事者への配慮に欠けた発言だったと感じている。
【安田】公的機関や学校、民間企業で活用できる対応指針の作成を。
【総務部長】職場の環境整備など、ひとつひとつできること

からやっつけていかなければいけないと思う。
【安田】同性カップルを公的に認めるパートナーシップ制度は、全国で9自治体が導入し、来年度9自治体が導入予定。本市でも検討を。
【市長】同制度は、異性の夫婦との不平等を是正するため、婚姻関係に相当する権利を認めることをめざすもの。十分調査研究し、慎重に検討していきたい。



市内現地視察 報告

【経済厚生常任委員会】

平成30年12月14日

境漁港高度衛生管理型市場整備で、平成31年6月に供用開始予定の、陸送上屋、1号上屋を視察しました。



【決算審査特別委員会】

平成30年10月4日

平成29年度に企業立地支援補助金を利用して、工場増設を行った山陰アシックス工業(株)の工場視察をしました。



総務民教委員会 行政視察 報告

期 日 —— 平成30年11月6日（火）
 ～8日（木）

委 員 —— 森岡 俊夫 委員長
 景山 憲 副委員長
 荒井 秀行、岡空 研二
 田口 俊介、長尾 達也
 柗 康弘



視察を終えて

○埼玉県富士見市 視察目的「議会災害対策会議について」

この会議は、議会開会中に発生した「東日本大震災」の苦い経験を踏まえ、災害時に議会・議員が迅速、的確な行動ができるよう、非常事態に即応した役割を果たすことを目的として設置されたものです。本市でも非常事態への対応として対策指針の必要性を認識しました。

○埼玉県所沢市 視察目的「生涯学習推進センターについて」

この施設は、統廃合され使用しなくなった小学校を改修整備して、人づくり・地域づくりを進めるために生涯学習の拠点施設として設置されたもので、本市でも誠道小学校と余子小学校の統合を目前にして、跡地利用について検討を深めるために視察しました。

○群馬県前橋市 視察目的「マイナンバーカード取得促進の取り組みについて」

同市では、マイナンバーカードをさまざまな取り組みに活用しており、その先進的な活用方法は大変参考になりました。取り組み方によっては、市民サービスの向上とまちの魅力度アップにつなげることができる、との印象を持ちました。

○群馬県藤岡市 視察目的「消防団の加入促進、活動の強化について」

消防団員の確保には、団員の直接勧誘を基本として、地域住民（自治会）の協力や企業などへの働きかけにより、確保に努めておられます。さらに全国で初の女性団員のみで構成する分団などもあり、防火意識高揚のためのソフト事業も充実していました。本市でも自主防災組織の組織率の向上と相まって、藤岡市の取り組みは、たいへん参考になりました。

経済厚生委員会 行政視察 報告

期 日 —— 平成30年11月7日（水）
 ～9日（金）

委 員 —— 佐名木知信 委員長
 安田 共子 副委員長
 足田 法行、築谷 敏雄
 永井 章、平松 謙治
 松本 熙、米村 一三



視察を終えて

○滋賀県野洲市 視察目的「生活困窮者支援の取り組みについて」

同市では、債権管理条例を制定し、滞納を市民からの貴重なSOS情報として、各債権所管課の滞納情報を一元管理し、生活再建につながる支援をふまえた納税指導を徹底しているとのことでした。

また、くらし支えあい条例によって、消費者被害から市民の安全を守る取り組みが徹底されており、「一人を伸ばせない、救えない制度は、制度ではない」として、個人の支援が社会の支援の第一歩であるとの先進的な取り組みは大いに参考になりました。

○愛知県蒲郡市 視察目的「みなとオアシスがまごおりの取り組みについて」

平成28年に開港50周年を迎えるにあたり、海のにぎわい創出事業の拠点として、蒲郡駅から300mの距離にある港湾エリアにおいて、各種交付金・補助金を活用して、エントランスやトイレ、防災施設などの整備を行い、イベントを開催するなどして、港のさらなる活性化をはかったとのことでした。

本市でも2020年の竹内南地区貨客船ターミナル完成にともない、各種イベントが予定されていますが、「みなとオアシスがまごおり」の取り組みも参考に、港の活性化をはかることが重要だと感じました。

○愛知県大府市 視察目的「ウェルネスバレーの取り組みについて」

同市では「ここで子どもを育てたい」「ここで暮らしたい」と思える「^{こうれい}幸齢社会」の実現に向け、ウェルネスバレー構想を推進し、大府市と東浦町にまたがる、「あいち健康の森」の周辺地域に健康・医療・福祉に関する施設を集積させ、市制施行当初から健康都市の実現をめざした取り組みを結実させました。

本市でも基本理念や活動コンセプトを明確にした条例などを制定し、施策を展開することが効果的であると感じました。

視察報告書は境港市議会ホームページに掲載しています



冬晴れに 2017年 撮影：竹田 誠司 様



ベタ踏み坂 雪夕景 2017年 撮影：大濱 博幸 様

あとがき

新しい年を迎え、こころ新たな気持ちで議員活動スタートしたところです。昨年は、大きい自然災害の多かった年でしたが、本市においては大きな被害もなく過ごせました。また、待望の水木しげるロードリニューアルが完成し、2018年の入り込み客数は274万人に達し、たくさんのにぎわいがありました。一方では、境港市議会議員一般選挙で無投票という結果となり、議員一人一人がその結果を真摯に受け止め、議会活動に精進してまいりました。その一環として、市民の声を聞かなければならないとの思いで、市民アンケートや街頭アンケートを実施しているところです。市民のみならずには、是非ともご協力をお願いいたします。また、広報部会一同、今年も議会だより「つなび」が、市民のみならず、読みやすく、親しみのある紙面となるように心がけていきますので、よりいっそうのご愛読をお願いします。

(築谷)

【発行責任者】

議長 柊 康弘

【広報部会】

部長 安田 共子

副部長 米村 一三

築谷 敏雄

足田 法行